

[006]九州帝国大学農学部演習林報告表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/14206>

出版情報：九州帝国大学農学部演習林報告. 6, 1934-06-30. 九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：

序 言

- (1) 本學部演習林本部勤務田中祐一助手は樺太演習林設定以來同演習林の施業及森林の研究に従事せるが前演習林長植村教授と共に調査研究せるものは既に演習林報告第一號及第二號に於て發表せられたり。今回田中助手の調査せるものは樺太演習林内に峭立し樺太北部の代表的山岳とも看做し得べき幌登山に於て樺太森林の最主要林木たるエゾマツ、トドマツの遷移状態を研究せるものにして、學術上は勿論樺太森林の施業上參考に資すべき價值あるを認めたるに依り之を發表することとせり。
- (2) 樺太演習林に於ては昭和三年以來演習林所在地敷香郡敷香町大字保恵に於て氣温、地温、氣壓、濕度、蒸發、日照、雨量等の觀測をなし來れるが昭和八年を以て六ヶ年を経過せるに依り一先其結果を取纏め發表することとせり。觀測者は樺太演習林勤務囑託田瀬壽雄、雇松澤正、本多光範、財津秀雄の四氏にして諸計算及統計は演習林本部勤務雇橋本武雄之に當れり。

- (3) 糟屋演習林に於ては昭和四年以來演習林事務所所在地福岡縣糟屋郡篠栗町大字高田に於て氣溫、氣壓、濕度、蒸發、日照、雨量等を觀測し昭和八年を以て五ヶ年を経たるにより前同様其結果を取纏めて發表することとせり。觀測者は糟屋演習林勤務雇樋口勝及富田武雄兩氏にして諸計算及統計は演習林本部勤務雇橋本武雄之に當れり。
- (4) 糟屋演習林地形圖は糟屋演習林在勤元助手梶木治郎、雇樋口勝兩氏が昭和五年より昭和八年の間に實測せるものにして施業上の基礎たるものなるに依り之を印刷に附することとせり。

昭和九年六月

演習林長 土井藤平